

# スマート農業技術体験の実施について

今回のシンポジウムで取り上げている株式会社おしの農場では、ドローンやトラクタの自動操舵システム等のスマート農業技術を積極的に導入されています。

そこで、シンポジウム会場内におきまして、スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA（イプサ））事務局※のご協力により、

- ①MR技術を用いたドローンの操縦体験
- ②農機のシミュレーションゲームを用いた操縦体験

などを行うこととしております。

詳しくは、次頁からの「IPCSA特別企画 スマート農業技術を体験しよう！」をご覧ください。

（公益財団法人 日本農林漁業振興会）

実施時間 12：00～13：15 及び シンポジウム終了後～16：30

【シンポジウム開催時間 13：30～16：00（終了予定）】

※IPCSA事務局（農林水産省技術政策室 及び

農研機構本部スマート農業施設供用推進プロジェクト室）

# IPCSA特別企画 スマート農業技術を体験しよう！

経営面積の拡大と将来の経営継承を見据え、**ドローンやトラクタの自動操舵システム等のスマート農業技術を積極的に導入していることが、おしの農場様の天皇杯受賞理由の一つとなっています。**

スマート農業技術の体験ができるブースを設置しますので、ぜひお越しください。

## ①ドローンの操作体験



MR技術（現実空間にデジタル情報を重ね合わせる技術）を用いてドローンの操縦体験ができます。スマートグラスを装着し、ドローンをその場で飛ばしているかのような体験が可能です。

## ②農機の操縦体験



農業シミュレーションゲームを用いて、田植え機等の農機の操作体験ができます。また、直進アシストや自動操舵等のスマート農業技術を疑似的に体験することも可能です。

# (参考) スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA) について

イプサ

- スマート農業技術活用促進法及び基本方針に基づき、スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進していくため、農業者が中心となって運営する多様なプレーヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）※を設置。  
※IPCSA : Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture
- 同会議において、生産と開発の連携、情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を通じ、**コミュニティ形成を促進**することとしており、令和7年度より本格的に活動を開始。

## ■ IPCSAの構成員



※会員数：1,374 (R7.12.4時点)

## ■ IPCSAの運営

### ○ 運営委員

- (株) 浅井農園 浅井 雄一郎 代表取締役【運営委員長】
- (株) アグリーンハート 佐藤 拓郎 代表取締役
- (株) 鈴生 鈴木 貴博 代表取締役社長
- (株) ファームノートデーリィプラットフォーム 平 勇人代表取締役
- (株) 日本農業 内藤 祥平 代表取締役CEO
- (株) 三浦農場 三浦 尚史 代表取締役
- (株) 日本総合研究所創発戦略センター 三輪 泰史 チーフスペシャリスト

詳細及び  
入会は[こちら](#)



### ○ 事務局

農水省技術政策室及び  
農研機構スマート農業施設供用推進プロジェクト室

# (参考) IPCSA 設立総会の開催 (R7.6.27)

- 農業者、民間企業、地方公共団体、大学、研究機関等の約1000名の多様なプレーヤーが参画。
- スマート農業の推進に意欲的な農業者、スタートアップ、有識者等による講演及びパネルディスカッション等を実施し、スマート農業技術の活用に向けた参加者の機運を醸成。
- 参加者との意見交換を通じて、スマート農業技術を活用して「儲かる農業」を目指すこと、世界をリードする優良な成果や技術を創出していくこと等、IPCSAの役割や活動の重要性について共通認識を深めた。

## 設立総会当日の様子

- 政務官挨拶
  - 事務局挨拶
  - 決意表明
  - IPCSA活動紹介
  - 基調講演
  - スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定者の取組紹介
  - パネルディスカッション
  - 交流会
  - スマートグラス実演会
- | 山本政務官 | 農研機構<br>久間理事長 | 浅井運営委員長 | 農水省<br>齊賀技術政策室長 |
|-------|---------------|---------|-----------------|
|       |               |         |                 |
| 山本政務官 | 農研機構<br>久間理事長 | 浅井運営委員長 | 農水省<br>齊賀技術政策室長 |
- | 女子栄養大学<br>中嶋教授 | 株おしの農場<br>押野専務 | 株Root<br>岸代表 | 農水省<br>堺田技術総括審議官 |
|----------------|----------------|--------------|------------------|
|                |                |              |                  |
| 女子栄養大学<br>中嶋教授 | 株おしの農場<br>押野専務 | 株Root<br>岸代表 | 農水省<br>堀田技術総括審議官 |

## 参加者からの主な意見

- スマート農業を導入することを目的としてはいけない。「儲かる農業」を目指し、経営の基盤安定や次世代への継承にとってスマート農業が必要であるという共通認識の下でIPCSAの活動が推進されることを期待したい。
- インプットをいかに少なくして、アウトプットを最大化できるかがポイント。地域ごとに、その作物の一番の理想形を示すことができるかが重要になる。
- 特定の品目や経営、中山間地など、マーケットが小さく単独で解決できない課題でも、IPCSAを通じて、他との共通点を見出すことができるのではないか。
- データ活用などのサービス支援の展開では、熟練者か新規就農者かなど利用者の属性によってサービスの設計が変わってくる。そこで差別化していくことが必要はないか。
- 世界から評価される成果や技術を生み出し、グローバルな活動の展開に期待したい。
- とてもワクワクしている。IPCSAの中で、先進的な農業者等から、これまでの課題やこれからの可能性などをもっと学びたい。

## ○ パネルディスカッション



(左から三輪氏、浅井氏、鈴木氏、平氏、内藤氏、押野氏、岸氏)

## ○ 交流会



(参加者間の交流)



(スマートグラス実演会)

# (参考) IPCSAの主な活動

## ①情報の収集・共有・発信

- 専用サイトでスマート農業に関する最新情報を発信
- 国内外の技術動向、スマート農業技術による経営効果などの独自調査を実施



(専用サイトで情報発信)



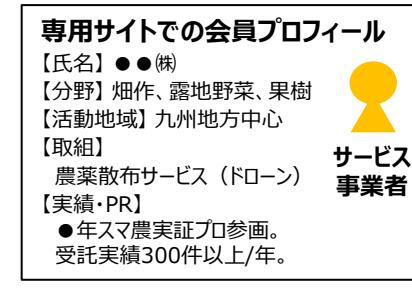
(優良事例等の情報発信)

## ②関係者間のマッチング

- 各種イベントによる交流・マッチングの機会づくり
- 専用サイトで会員間のコミュニティ形成を促進



(各種イベント実施)



(専用サイトでの会員間マッチング)

## ③人材の育成

- スマート農業技術を使いこなせる人材の育成に寄与する研修情報の発信、モデル的な研修の実施



(全国各地の研修情報の整理・提供)

内容・  
テーマ  
を設定

- IPCSA独自のモデル的な研修を実施  
【テーマ・内容案】
- ・スマート農業技術の有効活用による経営改善ノウハウ
  - ・スマート農業技術に適した新たな生産方式の導入

## ④技術的な検討

- スマート農業技術活用に意欲的な農業者を中心に、課題解決に向けた議論・検討の場を設置

### プラットフォーム

當農類型ごとの農業者を中心に設置し、課題や技術開発・普及等について検討

水田作

畑作

露地野菜  
・花き作

果樹  
・茶作

施設野菜  
・花き作

畜産  
・酪農

### 検討会

プラットフォームの枠を超えて対応すべき課題を議論